

4 豊かな心と身体を育てる社会づくり

① ちば文化の創造と千葉県民のアイデンティティーの醸成

目標

県民や関係団体、市町村などと連携して、「ちば文化^{*}」に親しめる環境をつくとともに、「ちば文化」を継承し、新たな「ちば文化」を創造します。

県民の千葉県に対する愛着や誇りを育みます。

現状と課題

文化芸術^{*}は、県民が真にゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現していく上で、欠かせないものであり、教育、地域づくり、産業など社会のあらゆる分野と関わり、地域社会の発展と県民の活力を高めていく貴重な財産です。

千葉県には、古くから伝えられた文化と、全国各地から移り住んだ人々によってもたらされた文化、そして、県内各地で取り組まれている新しい文化などがあります。これらの文化や芸術の担い手である県民一人ひとりの文化への思いや取組が、新たな「ちば文化」として創造されており、その振興と発展を通して、郷土に愛着と誇りを持てる活力に満ちた地域社会を形成していく必要があります。

このため、文化芸術活動を支えるための仕組みづくりや、伝統文化の保存・継承、県民が文化にふれ親しむ環境づくりを進めることが重要です。

さらに、地域の生活様式、歴史的建造物などの「文化資源」を活用し、郷土への愛着や誇りにつなげ、地域の活性化を図ることが必要です。

一方、東京に近い県内の都市部には、東京都をはじめ県外に通勤・通学している人が多く、千葉県民としての意識が希薄な人たちが多くと言われており、県民の千葉県に対する愛着や誇りをより一層育むことが求められています。

取組の基本方向

「ちば文化」の継承と新たな創造に向け、県民や関係団体、市町村などと連携し、文化芸術活動を支える体制を構築するとともに、文化にふれ親しむ環境づくりや伝統文化の保存・継承を推進します。

また、長い歴史の中で育まれてきた「文化資源」を観光振興や魅力あるまちづくりなどに活用します。

さらに、県民が千葉県に対する愛着や誇りをより一層感じられるよう、県民の日に係る取組を広く展開し、千葉県民としての意識の醸成を図ります。

主な取組

1 文化芸術活動を支えるための仕組みづくり

県民主体の文化芸術活動を促進するため、全県的に活動する文化芸術団体との共催による「千葉・県民芸術祭」を開催するとともに、文化芸術団体の自主的な活動を支援します。

また、文化芸術団体や文化施設、関係機関などによる文化のネットワークの形成や、ネットワークの核となる人材の育成、企業メセナ*をはじめとする文化芸術活動への支援の促進、県民の貴重な財産となる文化財の保存整備の支援など、文化芸術活動を支えるための仕組みづくりを行います。

- 県民の自主的な文化芸術活動の促進
- 文化芸術団体への支援
- 文化のネットワークの構築
- 「ちば文化」を担う人づくりの推進
- 企業メセナ等による支援の促進
- 文化財の保存整備の支援



「千葉・県民芸術祭」での日本舞踊公演



「千葉・県民芸術祭」における三曲(箏・三味線・尺八)の演奏

チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

文化芸術

県では、県民の皆さまが文化芸術に触れ、自主的に文化芸術活動に取り組めるよう、県のホームページにいろいろな文化の情報を掲載しています。

トップページの「教育・文化・スポーツ」の中から「ちば文化交流ボックス」をクリックしてみてください!

県内の文化イベントや文化芸術団体の活動などを紹介していますので、ぜひ参加してみてください。きっと新しい発見があります!



2 文化にふれ親しむ環境づくり

ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉を活用した音楽鑑賞教室や県民芸術劇場公演などを開催し、優れた芸術文化に触れる機会を県民に提供するとともに、県民の文化的活動や学習活動を支援します。

また、音楽・美術・伝統技術などの専門家による指導を受ける機会を設け、県民の文化芸術に対する技術や知識の向上を図るとともに、後継者を育成します。

さらに、県内のオーケストラ活動の普及を目的として設置した千葉県少年少女オーケストラの活動を支援します。

- 優れた芸術鑑賞機会の充実
- 子どもたちの文化芸術活動の充実
- 若者の文化芸術活動の支援
- 高齢者・障害者等の文化芸術活動機会の充実
- 学校教育における文化芸術活動の充実
- 県立文化施設におけるサービスの向上や機能の拡充

3 文化資源を活用した地域の活性化

県内各地に残る歴史的建造物・史跡などの文化遺産、郷土芸能や生活文化、里山・棚田などの景観は、県民の貴重な財産であり文化資源でもあります。この郷土の文化資源を見つめ直し、掘り起こし、その魅力を多くの人に知ってもらい、地域の活性化につながるよう支援します。

- 文化資源の活用と地域の活性化
- 文化的景観等の保全・活用



ニューフィル千葉の演奏と県民合唱団による合唱



0歳から入場できるプロムナードコンサート



「伝統芸能継承者育成事業」における生け花体験



本格的な能舞台上で演じられる「青葉能」
(青葉の森公園芸術文化ホール)

4 伝統文化の保存・継承

千葉の貴重な財産である伝統文化に対する県民の関心を促し、次世代に伝え、継承者育成につなげる機会を提供するため、関係機関・団体や文化財の所有者・伝承者とともに、伝統文化に県民が触れ、青少年が体験・鑑賞する取組を推進します。

- 伝統文化の保存と担い手の育成
- 伝統文化に触れる機会の提供
- 青少年への伝統文化の継承

5 千葉アイデンティティーの醸成

県民に千葉の魅力を再発見してもらい、県民としての意識の醸成及び地域の活性化を図るために6月15日の県民の日を中心に、市町村や企業などと連携し、県民の千葉を愛する心を育む取組を推進します。

- 市町村・企業等と連携した県民の日に係る事業の展開



県民の日行事の開催(いんばふれ愛フェスタ2013)

② 「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」の推進

目標

全ての県民がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合いながら、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合う「スポーツ立県ちば」の実現を目指します。

現状と課題

スポーツは、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化であり、健康で文化的な生活を営む上で重要な役割を果たします。特に現代社会においては、青少年の教育や生きがいとして、多くの人々に親しまれ互いの交流を促しています。

県では、「ゆめ半島千葉国体」及び「ゆめ半島千葉大会」開催を契機に、総合的かつ計画的な施策推進を目指し、体育・スポーツの施策に関する基本的な理念と施策の方向性を明らかにした「千葉県体育・スポーツ振興条例」を平成22年12月に制定しました。

急速な高齢化が及ぼす健康づくりや介護予防等への意識の高まり、県民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズの多様化など、スポーツを取り巻く環境の変化に対応しつつ、経済波及効果や地域の活性化等を生む大規模スポーツイベントの開催、本県の持つ数多くの宝・ポテンシャルを最大限に生かしたスポーツによる「ちばブランド」の確立など、新たな役割も果たしつつ、全ての県民がスポーツに親しみ、スポーツの感動を分かち合いながら、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合う「スポーツ立県ちば*」の確立が求められます。

取組の基本方向

「スポーツ立県ちば」の実現に向け、「ゆめ半島千葉国体・千葉大会」で醸成されたスポーツの「する・みる・ささえる」といった優れた環境等*をしっかりと引継ぎ、本県の持つ様々なポテンシャルをさらに高め、県民のスポーツへの参加促進と競技力向上などスポーツの推進に積極的に取り組めます。

主な取組

1 生涯スポーツの推進

する・みる・ささえるスポーツを通して、元気と活力ある県民を増やすため、個人の運動やスポーツへの主体的な取組の推進やライフスタイルに応じたスポーツ環境の整備に取り組みます。

また、県民の多様なニーズに対応できるスポーツ情報の積極的な収集及び提供に努めます。

- 健康・体力づくりを意識したスポーツ活動の推進
- 高齢者のスポーツ推進
- 障害のある人のスポーツ推進

2 人々に感動を与える競技力の向上

国民体育大会の上位入賞と未来のアスリートの発掘・育成・強化のため、スポーツ関係団体と連携し、計画的な選手の発掘・育成・強化や指導者の養成、スポーツ医・科学の活用などを行うとともに、国体で培われた土壌を生かしながら競技力の向上に取り組みます。

- 選手の育成・強化、指導者の養成・確保
- 競技力向上のための環境整備
- スポーツ医・科学の積極的な活用
- 組織・調査等の充実



第68回国民体育大会(バレーボール成年男子)



未来(あした)への道1000km縦断リレー

チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

スポーツ立県ちば

スポーツを推進していくため、スポーツへの参加促進と合わせて、競技力の向上に取り組みます。

本県で育った選手が日本、そして、世界の「ひのき舞台」で活躍することは、県民に感動や勇気、希望、誇りを与え「スポーツ立県ちば」の実現のために大きな役割を果たします。



3 スポーツ環境の整備

県民のスポーツに親しむ機会の選択の幅を広げるため、スポーツ施設の整備やスポーツ指導者の育成に取り組むとともに、スポーツイベントなどのスポーツ情報の収集・提供を行います。

また、長期的視点に立ったスポーツ推進施策を展開するため、スポーツ推進のための財政基盤の確立などに取り組みます。

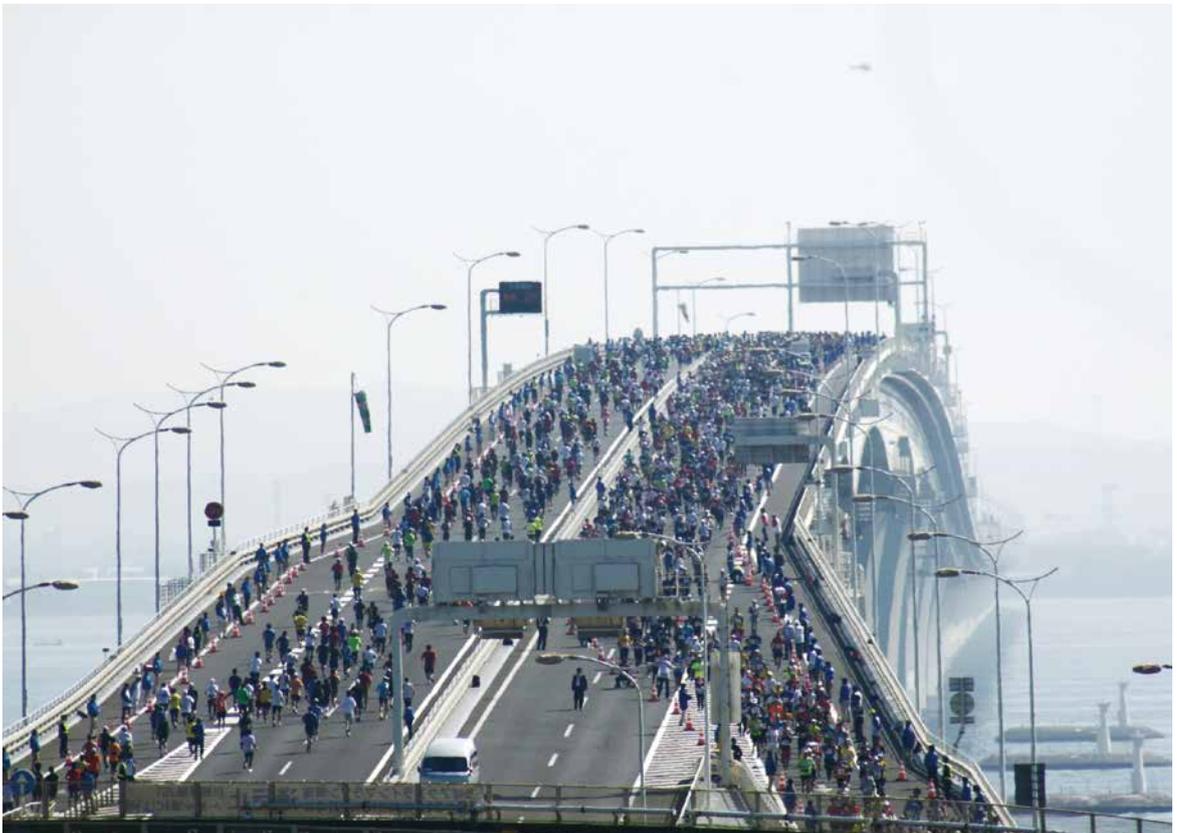
- 人づくりの推進
- 施設の再整備と有効活用
- システム作りの推進

4 スポーツを活用した地域の活力づくり

スポーツを活用した地域の活力づくりのため、プロスポーツと学校や地域をつなぐシステムの研究やスポーツと観光を組み合わせたプログラムの開発などに取り組みます。

また、「ゆめ半島千葉国体」開催のノウハウ等を生かし、関係市町村や関係競技団体等と連携し、「ちばアクアラインマラソン」等の大規模大会の企画・運営に取り組みます。

- プロスポーツを活用したスポーツの推進
- 豊かな自然を生かしたスポーツイベントの活用による千葉の魅力発信
- 国体開催のノウハウ等を生かしたスポーツの拠点づくり



ちばアクアラインマラソン